

計画書の構成（案）

【現行計画の構成】

第1章 計画策定にあたって

1. 計画の現状
2. 西ノ島町の現状

第2章 基本構想 ～人の集う島へ～

1. これからの西ノ島町を考える
2. 島の魅力を活かす3つの方策
3. Keep 3000！
4. 計画体系図

第3章 基幹プロジェクト

1. 資源を活かして働く
2. 助け合い健やかに暮らす
3. 自然とともに暮らす
4. 島外へ伝える
5. 島内で受け継ぐ
6. 基盤をつくる

第4章 基本施策

1. 資源を活かして働く
2. 助け合い健やかに暮らす
3. 自然とともに暮らす
4. 島外へ伝える
5. 島内で受け継ぐ
6. 基盤をつくる

資料編

1. 住民アンケート結果
2. 計画の策定体制
3. 用語集

【次期計画の構成（案）】

第1章 計画策定にあたって

1. 計画の現状
2. 西ノ島町の現状

第2章 基本構想 ～●●●～

●. 人口ビジョン

第3章 総合戦略

●. 計画の推進体制、評価検証方法

第4章 基本施策から抽出

第4章 基本施策

再構成（基本構想と紐づけ）

資料編

1. 人口ビジョン（資料）
2. 住民アンケート結果
3. 計画の策定体制
4. 用語集



第1章 計画策定にあたって

1. 計画の概要

1 計画の目的

- 平成25年3月に「人の集う島へ」を目指す姿とする「第5次西ノ島町総合振興計画」を策定
- 令和2年3月に「人口ビジョン」「第2期西ノ島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- 「第6次西ノ島町総合振興計画」に人口ビジョン・総合戦略の改訂を含み、新たな町政運営の指針として策定

2 計画の対象期間

- 令和7（2025）年度～令和16（2034）年度の10年間

3 計画の構成

（略）

1 地勢

※現行計画の記載内容を踏襲

本町は、島根県の島根半島沖合（日本海西部）に浮かぶ隠岐諸島のうち島前地区に位置し、町名と同じ「西ノ島」一島で一町を形成しています。人口・面積ともに、隠岐諸島で隠岐の島町に次ぐ2番目に大きな町です。

その地形の大部分は、火山島特有の急峻かつ高低起伏の激しい山地丘陵によって占められています。また、島の東西を走る200mから300mの山脈により、内海側と外海側とに分かれています。

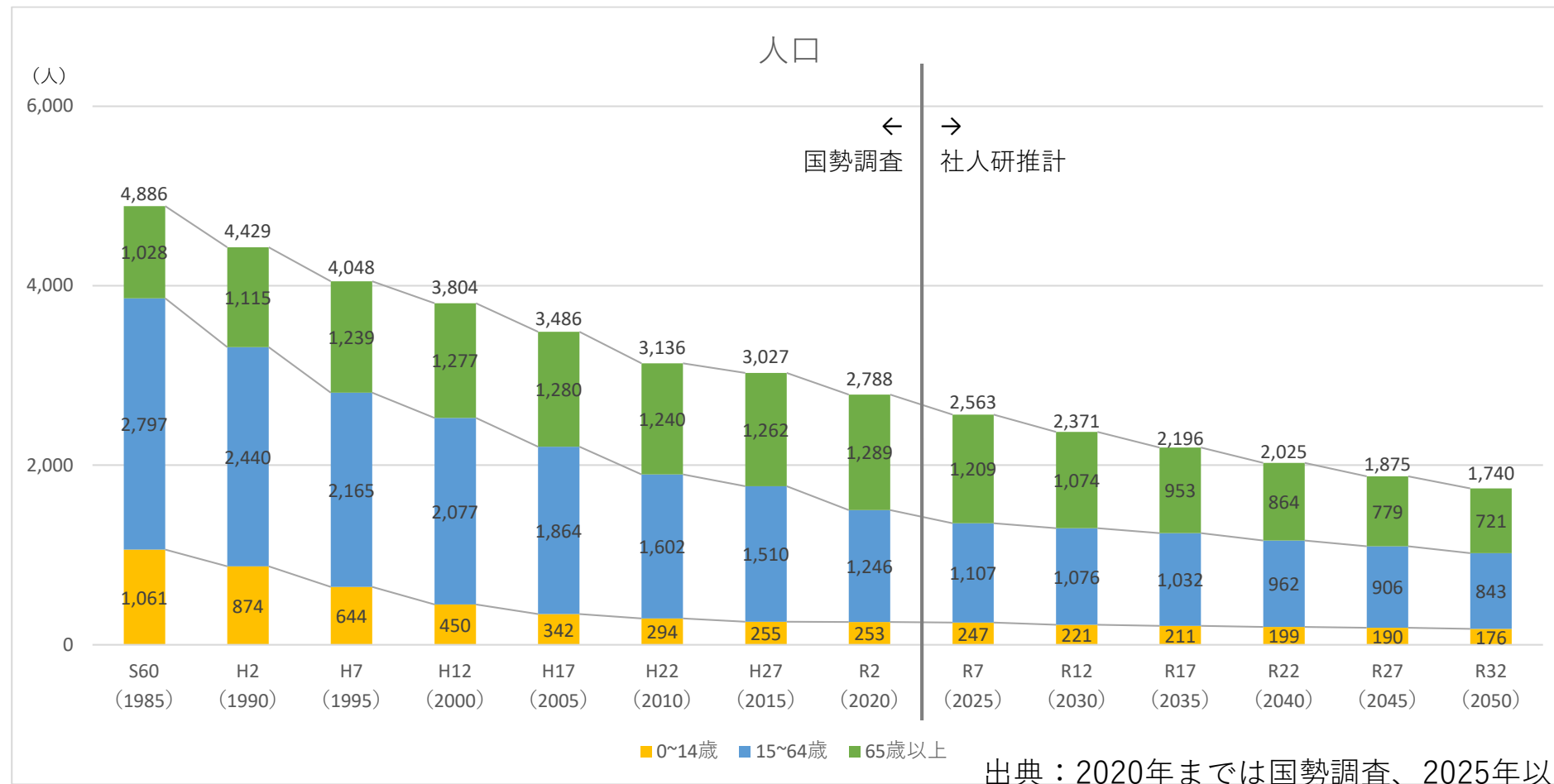
内海側には、西ノ島・中ノ島（海士町）・知夫里島（知夫村）に囲まれた穏やかで広々とした内海湾を抱き、海岸は屈曲に富んだ天然の良港に恵まれています。また、集落はこれら港に面して14地区が点在しています。

外海側は、西北岸に集落が1地区あるほかは延々37kmに及ぶ海蝕断崖の連続で、海岸には奇岩怪礁が男性的な景観を呈し、特に国賀海岸は隠岐諸島の観光の代表的景観として知られています。



2 人口

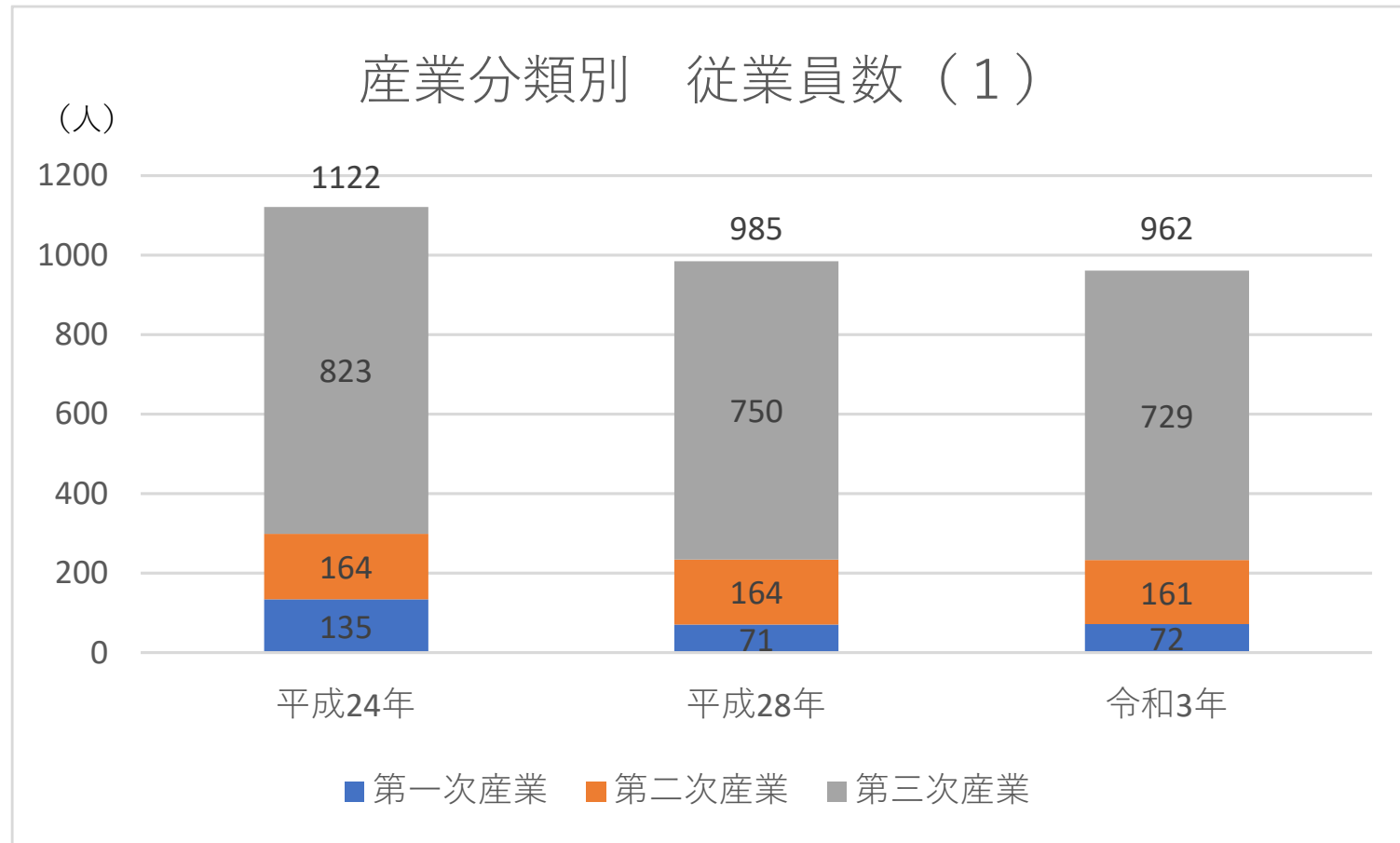
- 昭和25（1950）年をピーク（7,463人）に減少を続け、平成22（2010）年にはピーク時の半数以下の3,136人に
- 高齢者人口は増加を続けていたが、今後は高齢者人口も減少していく見込み



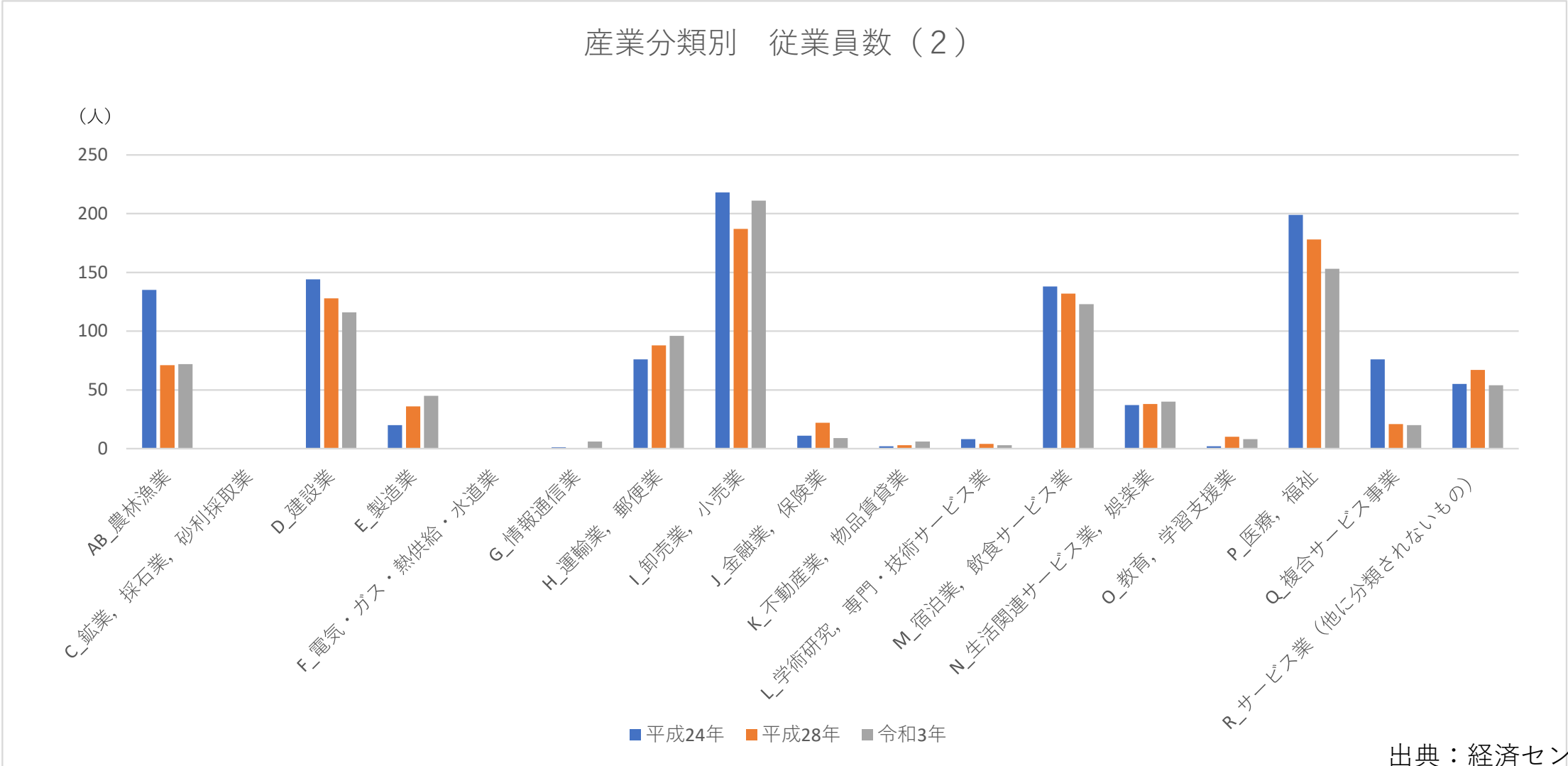
出典：2020年までは国勢調査、2025年以降は社人研推計

3 産業構造

- 全体的には従業員数は減少傾向となっている。
- 最も従業員数が多いのは第三次産業で、卸売業・小売業（I）、宿泊業・飲食サービス業（M）、医療・福祉（P）で全体の半数を占めている。



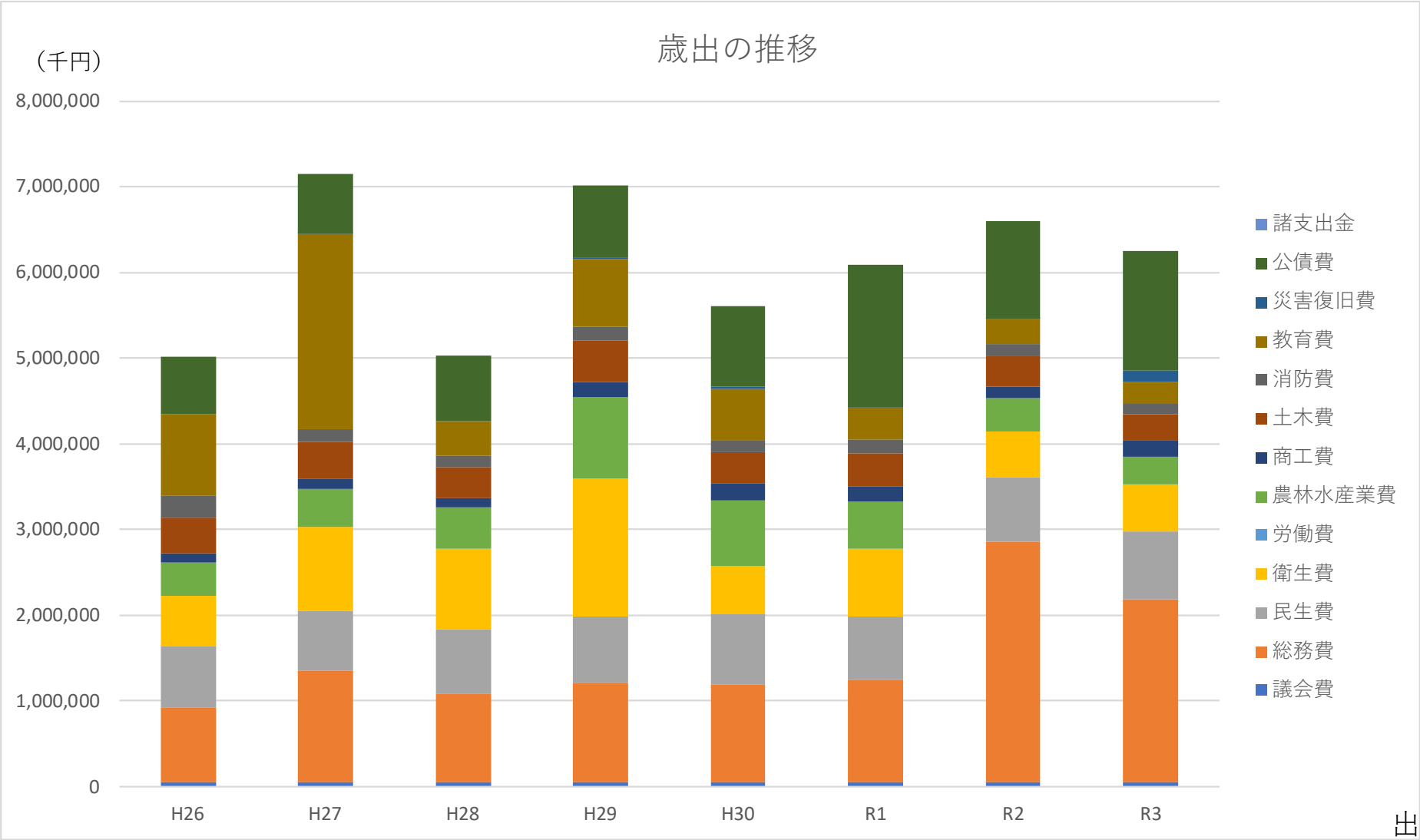
3 産業構造（続き）



2. 西ノ島町の現状

出典：島根県資料

4 財政状況（続き）



第2章 基本構想

1 将来像（めざす姿）

- 10年後の西ノ島町のめざす姿、つくりたいまちの姿

3 基本方針

- 将来像（めざす姿）を実現するためのまちづくりの方針

2 基本理念（大切に考える）

- 将来像（めざす姿）の実現に向けた考え方、心構え

4 人口ビジョン

- 将来の西ノ島町の人口予測と目標

第3章 総合戦略

- 重点的に取り組む施策について記載（基本施策から抽出）
- KPI（重要業績評価指標）を設定
- 施策の推進体制、評価検証方法について記載

第4章 基本施策

※庁内各課・事務局にて整理中

資料編

1 人口ビジョン（資料）

- ・ 人口ビジョン（第2章）に関する分析資料を掲載

2 住民アンケート結果

- ・ 住民アンケート（15歳以上／小中学生）の結果（参考：第1回審議会資料）を掲載

3 計画の策定体制

- ・ 計画の策定体制図（参考：第1回審議会資料）及び審議会・検討委員会の委員名簿を掲載

4 用語集